

令和 4 年度フッ化物応用研修会

日 時 令和 4 年 7 月 28 日（木）午後 2 時～4 時

※研修会内で「フッ化物洗口推進事業説明会」を同時開催いたします。

今年度、フッ化物洗口推進事業を担当されます方はご出席ください。

★研修内容の詳細は裏面をご覧ください★

歯科衛生士会員はこちらでお申し込みください！！

三衛会で取りまとめをして三重県歯科医師会に申込みをします。

第5次生涯研修の受講単位を取得希望の方は、必ず三衛会にお申込みください。

三重県歯科医師会に直接申込みをされた方は、受講単位が取得出来兼ねますことをご了承ください。

歯科衛生士会員専用 URL <https://forms.gle/BqTdGdtfbUHzigBL8>

<QR コード>

申込み締切り: 令和 4 年 6 月 24 日（金）

研修会の視聴方法等の詳細は、登録されたメールアドレスに

三重県歯科医師会より 7 月上旬にご連絡があります。



フッ化物洗口等の事業に参加される方は、できる限り参加していただきますようお願い致します。
日々の診療にも役立つ内容です。
専門家としてエビデンスを理解し患者様への指導に繋がましょう。

三重県歯科衛生士会事務局

E-mail mie-dh@infoseek.jp

日 時 令和 4 年 7 月 28 日（木）午後 2 時～4 時

※研修会内で「フッ化物洗口推進事業説明会」を同時開催いたします。

今年度、フッ化物洗口推進事業を担当されます方はご出席ください。

場 所 Web 受講 または 三重県歯科医師会館

対 象： 歯科医師、歯科衛生士、学校関係者等

※感染症の流行や悪天候等により、やむなく中止となる場合は、当日午前 9 時までに三重県歯科医師会ホームページに掲載いたします。

留 意 点： ◎Web 受講（自宅等）の場合

必ず期日（令和 4 年 6 月 24 日 金曜日 ）までにお申込みください。

視聴方法等の研修会に係る詳細は、7 月上旬にお申込み時にご登録いただいたメールアドレスにご連絡いたします。（アドレス入力を間違えないようにご注意ください）

◎研修会場（三重県歯科医師会館での受講）の場合 <定員：100 名（研修会場のみ）>

感染防止対策に努めて開催いたしますが、受付時の検温や館内でのマスクのご着用、手指消毒等にご協力をお願いいたします。また、応募者多数の場合はお申込みをお断りする可能性があります。予めご了承くださいますようお願いいたします。

演 題 「う蝕予防の重要性とフッ化物洗口の新しい展開」

講 師 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 健康推進歯学分野 教授 相田 潤 先生

※抄録、講師略歴

近年の厚生労働省の調査研究事業により、フッ化物洗口の新しい知見が増えている。2021 年に出された調査報告書では、子どものころに集団フッ化物洗口を経験していた場合、大人になってからもう蝕が少ないことが示された※1。子どもの頃の洗口の実施期間が長いほど、成人期（30～50 歳代）においてう蝕が少ないことが示された。驚くべきことに、調査時点で 50 歳代の成人にもその効果が認められたのである。幼少期に歯を守ることは、成人期の健康な歯につながることでデータで示された。う蝕は歯周病と並んで歯の喪失の主要原因である。そのため、幼少期のフッ化物洗口は、高齢期の歯の喪失を減らし、栄養の維持やフレイル予防にも寄与する可能性がある。現在の子どもたちへのフッ化物洗口のより一層の普及は、将来の健康増進にも大きく寄与するだろう。

※1. 厚生労働省. 口腔保健に関する予防強化推進モデル事業（自治体におけるフッ化物応用によるう蝕予防対策の長期的な影響等の検証）に係る調査等一式 2021 [Available from: <https://www.mhlw.go.jp/content/000816585.pdf>].

講師略歴

相田 潤（あいだ じゅん）

略歴

2003 年 北海道大学歯学部卒業

2004 年 国立保健医療科学院専門課程修了

2007 年 北海道大学大学院歯学研究科博士課程修了

2007 年 東北大学大学院歯学研究科助教

2010 年 University College London 客員研究員

2011 年～ 東北大学大学院歯学研究科准教授

2012 年～2018 年 宮城県保健福祉部 参与（歯科医療保健政策担当）兼務

2014 年～ 東北大学大学院歯学研究科臨床疫学統計支援室室長

2020 年～21 年 東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンター
地域展開部門教授(クロスアポイントメント)

2020 年～ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康推進歯学分野教授